

能登町買取型復興公営住宅整備事業

((仮称) 柳田第1団地)

事業者選定における審査講評

令和8年2月13日

能登町買取型復興公営住宅整備事業事業者審査委員会

役職	氏名	所属等
委員長	大月 敏雄	東京大学大学院教授
副委員長	小野田 泰明	東北大学大学院教授
委員	村木 茂	能登町役場 復興推進課長
委員	山下 栄治	能登町役場 総務課長
委員	内糸 英和	能登町役場 建設水道課長
委員	鏡島 敏雄	能登町役場 復興住宅課長

1. 審査結果

(1) 審査経緯

能登町買取型復興公営住宅整備事業((仮称)柳田第1団地)における事業者選定に関して、5者からの参加表明書の提出があり、事務局による第1段階審査の結果、失格者はなかった。

提案書の提出にあたって、2者から参加辞退があり、3者の提案内容について令和8年2月13日に開催した審査委員会において、第2段階審査が行われた。

審査にあたっては、無記名の提案書を精読した上で、事業者からプレゼンテーション方式による説明を受けた後に、質疑応答を実施した。3者のプレゼンテーション・質疑応答の終了後、各委員が定性的事項評価の採点を行い、各委員の評点を平均した結果を確認した上で、定性的事項の評価点を確定した。これに、提案書から算定した定量的事項の評価点を加算し、その合計点を確認した。

その結果、選定事業者は「一般社団法人 石川県工務店協会」となった。

2. 審査講評

定性的事項の提案に対する、審査委員会での評価は次のとおりであった。

① 事業実施体制

提案のあった3者ともに、実績、資金力、体制は十分と評価された。

② 住まい・まちづくりに関する提案

提案のあった3者はいずれも、本事業の趣旨を的確に踏まえた高水準の内容であり、それぞれに異なる強みが発揮され、評価が拮抗した。

選定事業者の提案については、堅実で完成度が高く、配置や計画のバランスに優れた点が高く評価された。居住性や安全性、事業の実現性を総合的に高いレベルで両立していることが、選定の決め手となった。一方で、動線上の除雪負担や外構等に伴うコスト面については、今後の詳細検討が望まれる。

次点事業者の提案については、多雪地域への配慮や、工期・コストの縮減に向けた合理的な計画が評価された。事業全体を安定的に進めるという観点での工夫も見られた一方、住まい・まちづくりの視点からの空間的な魅力付けに、なお改善の余地があると判断された。

次々点事業者の提案については、外構や住棟まわりの計画に多様なアイデアが盛り込まれており、居住環境やコミュニティ形成への意欲的な工夫が評価された。その一方で、細かな提案の実現可能性、玄関先の共用空間の管理などの懸念が指摘された。

③ 施工計画

提案のあった3者ともに、的確な施工計画が提案されており、完成させる能力の高さが評価された。

3. 最後に　－事業実施に向けて－

3者からいただいた提案は、いずれも本事業の趣旨を踏まえた質の高い内容でした。本事業を通じ能登町の復興を進めることに共感いただき、積極的な姿勢と熱意をもって応募していただいた事業者の皆様に、重ねて深く感謝と敬意を申し上げます。

また、選定された事業者におかれては、審査委員会から評価された内容を確実に実行していただくとともに、事業実施にあたっては、住宅を失った被災者の居住の安定、安心してくらしを支える住宅の実現に向けて、動線上の除雪負担や外構等に伴うコスト面についての課題等について検討・配慮いただきますよう、引き続きご尽力いただくことをお願いいたします。

以上